

科目	情報処理 (Information Processing)		
担当教員	大倉 和博		
対象学年等	機械工学科・5年D組・後期・必修・1単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	A3(100%)	JABEE基準1(1) (c),(d)1
授業の概要と方針	システム開発分野で広く使われているプログラミング言語Cに関する基礎知識を獲得するとともに、そのプログラミング演習を通して問題からアルゴリズムを構築する能力をつける。また、標準的な計算機環境であるLinuxとXウィンドウシステムの使い方に慣れる。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A3】 プログラム開発環境であるLinuxに関する基礎知識を得る。		プログラム開発環境であるLinuxに関して、基本操作およびCプログラミングに必要なLinuxコマンド群の基礎知識を得ているか、レポートと定期試験により評価する。
2	【A3】 データ構造とアルゴリズムに関する基礎知識を得る。		データ構造とアルゴリズムに関する基礎知識を得ているか、レポートと定期試験により評価する。
3	【A3】 Cの文法に関する基礎知識を得る。		Cに特徴的な演算子、if文、swich文、do...while文、while文、for文、配列、関数などのCの文法に関する基礎知識を得ているか、レポートと定期試験により評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	教育目標1, 2, 3の定期試験成績60%, レポートおよび授業中の演習課題40%の割合で評価する。ただし、出席状況の悪いものは不合格とする。		
テキスト	「新版明解C言語入門編」：柴田望洋（ソフトバンクパブリッシング）		
参考書	「C入門」：浦昭二・原田賢一共編（培風館）		
関連科目			
履修上の注意事項	情報基礎, 情報処理, 情報工学の理解が必要である。		

